

第1回名古屋市・愛知県調整会議 議事概要

- 1 日時 平成28年4月19日(火) 午後2時～午後2時37分
- 2 場所 愛知県庁本庁舎6階 正庁
- 3 出席者 大村愛知県知事、河村名古屋市長

4 議事概要

(1) 開会

(2) あいさつ

<愛知県知事>

- ・今日の会議は、地方自治法の一部改正により、この4月から設置することとされた指定都市都道府県調整会議の第1回会議として開催をするものである。
- ・愛知県と名古屋市においては、常日頃から緊密に連携・協調して、様々な事業に取り組んでいるところだが、地方自治法で調整会議が法制度化されたので、速やかに会議を立ち上げることにした。
- ・今日は、第1回目の会議なので、会議の運営や、今年度の県・市の連携事業などについて、河村市長と2人で話し合っていきたいと思う。今日は店開きをして、今後の運営方針、方向、要領を決めて、2回目の開催をどうするかということも含めて相談をさせていただければと思う。
- ・この会議も活かしながら、今後とも、愛知県と名古屋市がベクトルを合わせて機能強化を図り、引き続き、強い大都市圏づくりに向けて一致協力して取り組んでいきたい。

<名古屋市長>

- ・指定都市と県というのは仲が悪いということになっているようだ。知事とはいつもワーワー酒を飲んで話し合っているが、こういう会合も、また一つ意味があると思う。
- ・実際、外貨を稼いで、国に大変なお金を上納させていただいているのは、この名古屋市・愛知県である。民間の産業の皆さんが圧倒的な力を持っているということだ。それをさらに高みに持っていく。また、文化的にも、大変歴史のある地域である。そんな名古屋・愛知をつくっていきたい。

(3) 議題

①調整会議運営要領について

<愛知県知事>

- ・我々2人の構成を基本としつつ、必要に応じて議員を交えた拡大版の調整会議を開催できるよう運営要領を定めることといたしたい。

- ・県・市それぞれ議会に対して、構成員となる方2名の選出を申し入れるということといたしたい。

<名古屋市長>

- ・(同意)

②県・市の連携事業について

【全般】

<名古屋市長>

- ・大変結構である。
- ・この地域は、日本全国にお金をひたすら供給している地域である。仮に独立すれば、名古屋と愛知が、だいたい今と同じ税金で、だいたい3倍の公共サービスができる。東京にお金が流れていって、その上納のダントツトップが愛知・名古屋である。まずその認識を広め、この地域の産業界に感謝することだ。これをさらに高みに持っていき、無駄遣いでないちゃんとした投資が必要である。

【リニア中央新幹線開業を見据えた整備】

<愛知県知事>

- ・リニアについては、名古屋駅の大改造に向けて、市と県で、リニアの地下駅をつくる用地の確保に取り組まないといけない。また、名古屋駅のスーパーターミナル化に向けて、JRと一緒に取り組んでいく。

<名古屋市長>

- ・愛知県と一緒にあって、ちゃんと名古屋駅で降りてもらい、駅の外に行ってもらえるようにしていきたい。

<愛知県知事>

- ・名古屋駅は複雑で、警察官に乗り換えについて尋ねる方がとても多いとのことだ。

<名古屋市長>

- ・渋谷なんかも、複雑。(名古屋駅は)明確な表示が少ないか。

<愛知県知事>

- ・名古屋駅をどうするかは、これからだが、外の人とともに、市民、県民の皆さんに利便性が高まるように進めていくというのがひとつの方法ではないかなと思う。

【地域魅力の磨き上げ】

<名古屋市長>

- ・名古屋城の天守閣の木造化をシンボルとして、過去の文化的な、歴史的な蓄えがあるところである。産業だけではなく、そういう精神的なものも含めて、ここが日本の今のエンジンである。
- ・お金の話ばかりでなく、楽しい、おもしろいまちをつくっていきたい。

<愛知県知事>

- ・熊本城と名古屋城は加藤清正公が城普請した天下の名城である。今回、熊本地

震で、熊本城がああいう形になってるのを見ると、本当に胸が痛む。2回目の揺れで瓦が落ちたが、瓦の役割からすると、躯体を守るための先落ちであり、落ちて良いものだそうだ。愛知は日本一の大産地。全国シェアの70%ある。今回、地震を見ていて、瓦について、言われなき非難をされるのではないかなと心配している。アピールしなければ。

<名古屋市長>

- ・名古屋城も早くやらないと、いけない。
- ・杉原千畝さんは県市と一緒に取り組むのが良い。千畝さんについては、実際に住んでいた家まで分かった。そこから今の瑞陵高校までどう歩いたか、世界の人権を守るスーパースターなので、県と一緒に盛りたいと思っている。

<愛知県知事>

- ・八百津の記念館とも連携しながら、瑞陵高校に何か記念になるようなものが少しできれば良いかなと思う。またぜひそれは、ご支援とご協力をお願いしたい。

【サミット支援】

<愛知県知事>

- ・来月、サミットがあるが、アジア、アフリカの国と国際機関、国連、OECD、アジア開発銀行 ADB など、5つの機関が来て、7か国が名古屋に泊まるということで、歓迎レセプションを含めて名古屋市と一緒に実施するので、よろしくをお願いしたい。

<名古屋市長>

- ・これは県と盛り上げなければいけない。名古屋、愛知が乗換駅にならないよう、名古屋、愛知のここに行くよ、というものが重要だと思う。

<愛知県知事>

- ・来ていただいた皆さんには、名古屋城。オープン間近の本丸御殿が見られるのではないかな。

<名古屋市長>

- ・外国人には本物を見ていただきたい。

<愛知県知事>

- ・あとは徳川美術館やトヨタ産業技術記念館なども、ぜひご覧をいただければと思っている。

<名古屋市長>

- ・美味しいものも結構多い。最近はなかなか人気がある。名古屋コーチン鶏鍋。かき揚げ卵入りきしめんなどを食べていただきたい。

【芸術文化の情報発信】

<愛知県知事>

- ・長者町と愛知県美術館と名古屋市美術館を中心に、あいちトリエンナーレ 2016 を8月から開催する。10月29日からの国民文化祭では、愛知の山車祭りをメインに掲げていく。

＜名古屋市長＞

- ・山車文化については、ぜひ名古屋も忘れないように。尾張名古屋の木工技術が豊田自動織機を生んで、トヨタ自動車に繋がった。日本産業のルーツである。

＜愛知県知事＞

- ・全く同感である。芸術も、よろしくお願ひしたい。

【スポーツ大会の招致・育成】

＜愛知県知事＞

- ・スポーツイベントについても、マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知で盛り上がっているが、今年は日本陸上選手権大会がある。大いに盛り上がるのではないかと期待をしたい。
- ・他にも、2019年ラグビーワールドカップ、2020年フットサルワールドカップの誘致など、いろいろ控えているが、その間にもいろいろまだまだたくさんあるので、またぜひ一緒に盛り上げていければと思っている。

【まとめ】

＜愛知県知事＞

- ・話題は尽きないが、引き続き、県市で緊密に連携・協調して、相乗効果を発揮できるよう取り組んでいきたいと思う。

③第2回会議の開催について

＜事務局＞

- ・第2回会議については、本日議題とした県・市連携事業全般について、議員さんを交えての意見交換をお願いしたい。開催場所は名古屋市に担当していただき、本年夏頃を目途に県市で準備を進めてまいりたい。

＜愛知県知事＞

- ・議会にお声がけをして、議員の出席を求め、それを踏まえて、今年の夏頃を目途にまた調整をするということによろしいか。

＜名古屋市長＞

- ・(同意)

(4) 閉会

＜名古屋市長＞

- ・今、日本の国を支えているのは愛知県、名古屋市であり、産業界の皆さんの力によって日本が支えられている事を認識してもらわないといけない。
- ・愛知、名古屋に住んでいる人たちとともに、どえらいおもしろいまちをつくりたいと思っている。

＜愛知県知事＞

- ・4月からの法律施行を受けての、第1回目の名古屋市・愛知県調整会議ということで、店開きということだ。2回目にまた、議会の代表の方を入れて、様々に意見交換ができればと思っている。

- ・国内だけの競争ではなくて、世界の大都市圏との競争ということなので、まさに利害関係は一緒。ずっとこれからさらに前に向かって進んでいけるように、よくよく調整して、進めていければと思う。